

マイナンバーあるある

マイナンバーが
12ケタの番号というのは
わかったけど…
でも、どうしてできたんだろう…



たしかに、
どうしてひとりひとりに
番号が必要なんだろう？

マイナちゃん、
もう少し、
詳しく説明してくれる？

簡単にいうと、役所などで「本人
かどうか、個人を特定しやすくす
る。」ということです。

個人を特定しやすくなることによ
って、役所などは困っている人
を見つけやすくなります。世の中

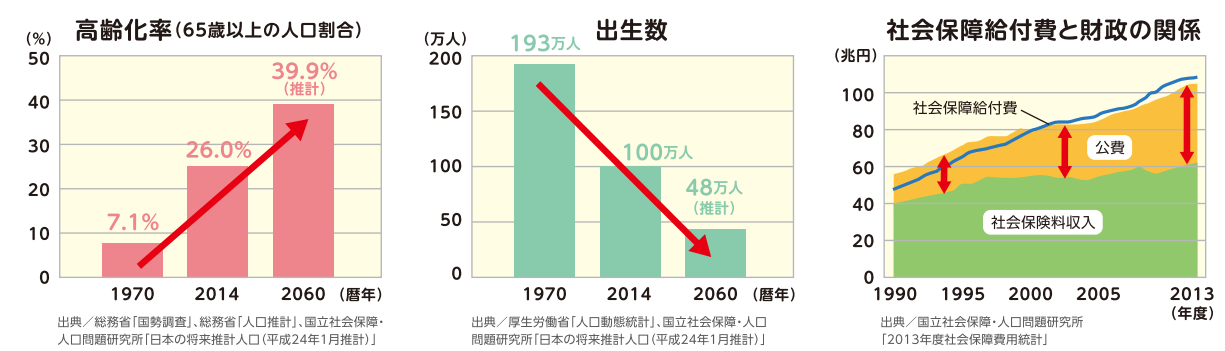
マイナンバーが導入される前は、それぞ
れの行政機関が、それぞれの番号で個人
の情報を管理していたので、「その人が本
当にどれだけお金をもらっているのか」「ど
んな行政サービスを受けているのか」など、
把握するのに多くの時間と労力を費やして
いました。今後はマイナンバーによって、
情報の確認がしやすくなるので、社会保
障の給付を適正に行うことができるよう
になります。また、税や社会保障の負担
を不当に免れることや、不正受給などが
なくなり、公正・公平な負担と給付が受
けられるようになります。

には、必要な支援を受けられるのに受
けていなくて困っている人もいます。マイ
ナンバーがあれば、そのような人に必要
な支援や給付を行うことができるように
なります。それに、これからの日本はお
年寄りが増えて、若者が減るといわれて
います。助けが必要な人が増えて、支
援に必要なお金(税)を納めてくれる人
が減ってきているともいえます。限られ
たお金を本当に必要としている人への
支援に使うために、このマイナンバー
制度がつけられたといえます。



少子高齢社会が抱える課題について

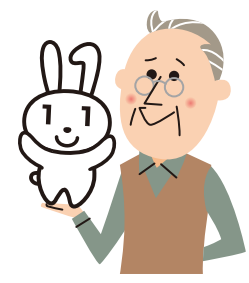
現在の日本はお年寄りが増え、子供の数が減る「少子高齢化」が進んでいます。高齢化によって増える社会保障の費用を、若者が支えるにも限界があるので、新しい仕組みが必要です。「マイナンバー制度」はこうした社会の変化に対応するために導入されました。



2060年には10人に
4人が高齢者に!

さらに、生まれる
赤ちゃんの数は
今の半分以下に!

社会保障給付費は、社会
保険料だけではまかなえず
公費の負担が増えている



マイナンバー制度の導入で目指す社会

マイナンバー制度の導入によって、所得の状況や社会保障の受給状況を正しく把握できると、税や社会保障の負担を不当に免れることや不正受給の防止、そして本当に困っている人に必要な支援ができるようになります (公平・公正な社会の実現)。また、行政手続のときに、必要な書類が減るなど国民の負担も減りますし (国民の利便性の向上)、業務のムダを減らすことにもつながります (行政の効率化)。

マイナンバー制度の3つの目的

- 公平・公正な社会の実現
- 国民の利便性の向上
- 行政の効率化

